

# ワイヤレスベースステーション (無線通信データ収集機 / 無線中継機)

## RTR500BC 機能と仕様

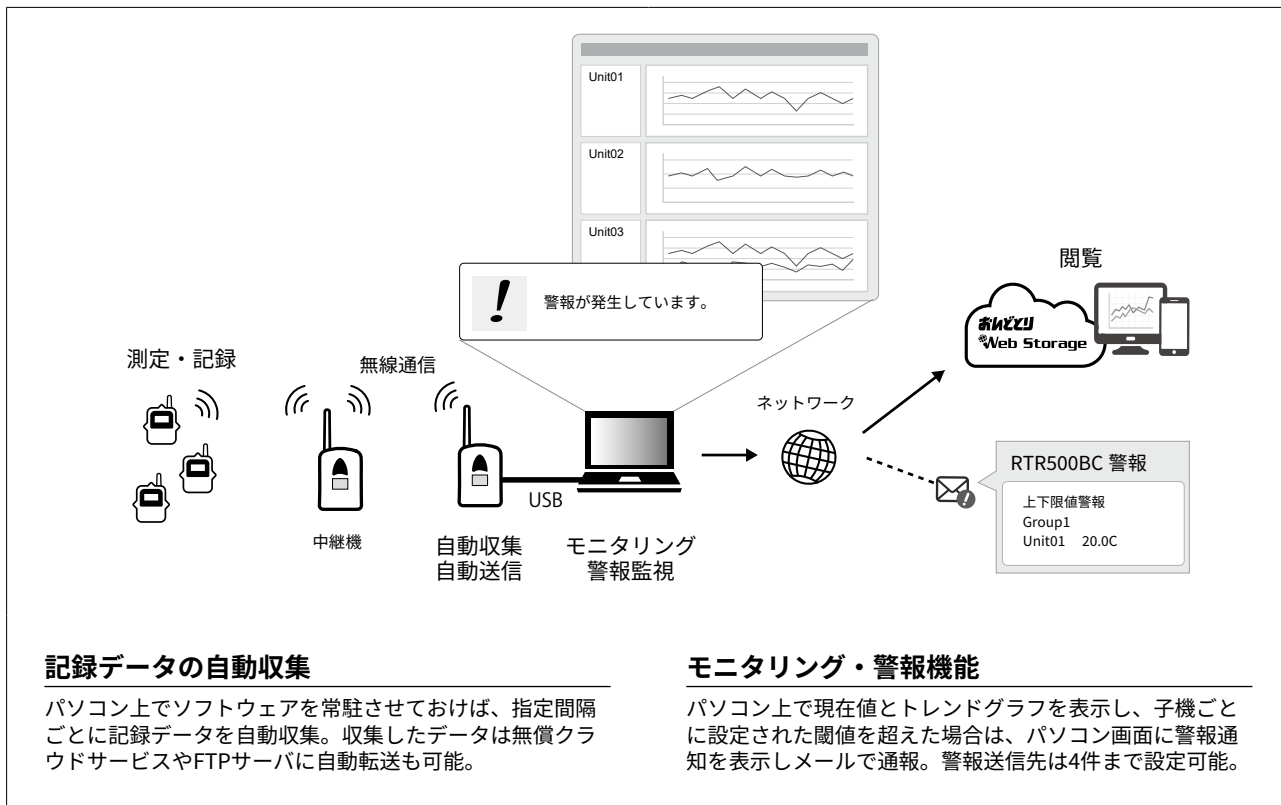
**データ転送**  
USB接続

**モニタリング**  
おんどとり Web Storage  
ローカルPC

**警報**  
測定値オーバー・センサ異常  
通信エラーほか

**警報確認方法**  
Eメール  
専用ソフトウェア

USBケーブルでパソコンに接続し、専用ソフトウェアでワイヤレスデータロガー (子機) の記録データを収集・転送、モニタリング、警報監視を行う無線収集機 (親機) です。また、RTR500Bシリーズの無線中継機としてもご利用いただけます。



### 32台×20グループのデータロガーを一括管理

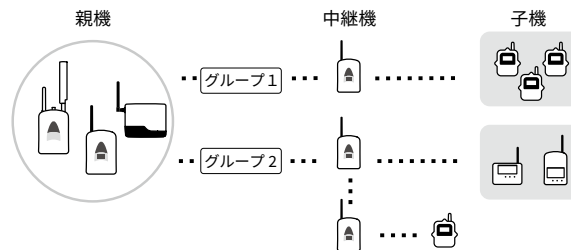
グループごと32台のワイヤレスデータロガー (子機) を登録可能。無線中継機は1グループにつき30台まで設置可能。

※RTR-574 / 576 は1台の登録を2台分としてカウントするため、1グループにつき16台になります。

- この製品は日本での電波法に準じております。無線通信機能は国外ではお使いになれません。
- RTR500Bシリーズなどの通信DLL、現在値/記録データ (XML) のファイルフォーマットを無償で公開します。弊社機器を利用した独自のアプリケーション、システムを作成することができます。

### 無線通信距離を延長する中継機として

データロガーとの無線通信距離は見通しの良い直線で約150m。無線が届かない場合は、RTR500BCを中継機として追加することで通信距離を延長可。



# RTR500BC ワイヤレスベースステーション

	RTR500BC
対応機種	子機： RTR500Bシリーズ (RTR501B / 502B / 503B / 505B / 507B) Lタイプ含む RTR-500シリーズ (RTR-574 / 576) Sタイプ含む RTR-600シリーズ (RTR-602S / 602L / 602ES / 602EL) (*1) 中継機： RTR500BC その他 (*2)
最大登録台数	子機： 32 台 (*3)×20 グループ 中継機： 30 台×20 グループ
通信インターフェース	特定小電力無線通信 ARIB STD-T67 周波数：429MHz帯 送信出力：10mW 通信距離：約150m (見通しの良い直線において) Bluetooth通信 Bluetooth 4.2 (Bluetooth Low Energy) (*4) USB通信 USB 2.0 (Mini-Bコネクタ) 光通信 シリアル通信 (*5)
通信時間	データ吸い上げ時間 無線通信：データ16,000個につき約2分15秒 中継機使用時は1台につき上記時間が加算されます
通信プロトコル (*6)	SMTP (TLS1.2対応), FTP
電源 (*7)	USBバスパワー，単3アルカリ電池×2，ACアダプタ AD-06A1，外部電源 DC9~38V (BC-0204使用)
電池寿命 (*8)	中継機の場合：約6ヶ月 (1日1回フルデータ吸い上げ / 子機1台，中継機1台の場合)
本体寸法	H 96mm×W 65.8mm×D 24.4mm (アンテナ含まず) アンテナ長：55mm
本体質量	約65g
本体動作環境	温度 -10~60°C (電池使用時)， -30~60°C (外部電源使用時) 湿度 90%RH以下 (結露しないこと)
付属品	USB Mini-B 通信ケーブル US-15C，取扱説明書一式及び保証書

\*1: RTR500BCをRTR-600シリーズの親機として使用する場合、別途公開の通信プロトコルを利用してお客様独自のシステムを構築していただく必要があります。

\*2: 旧機種 (RTR-501/502/503/507S/505, RTR-500C, RTR-601-110/130/E10/E30) を使用できます。RTR-500シリーズとRTR500Bシリーズの互換性については、弊社Webサイトの「RTR-500シリーズ/RTR500Bシリーズの互換性情報」をご確認ください。  
<https://www.tandd.co.jp/product/informations/compatible-rtr500b-loggers.html>

\*3: RTR-574 / 576は1台の登録を2台分としてカウントします。

\*4: RTR500BWを親機として使用し、スマートフォンアプリ (T&D 500B Utility) で中継機の設定をする場合に使用します。

\*5: 別途公開の通信プロトコルを使用し、お客様ご自身でソフトウェアを作成していただければシリアル通信が可能となります。その場合オプションのシリアル通信ケーブル (TR-07C) が必要です。

\*6: RTR500BC for Windows によって実現されるクライアント機能です。

\*7: RTR500BCを親機として使用する場合は、USBバスパワーで動作するので別途電源は不要です。

\*8: 電池寿命は周辺温度、電波環境、通信回数、電池性能などにより異なります。記載内容は新しい電池を使用したときの標準的な期間です。

上記仕様は予告なく変更することがあります。